

平成20年度 企業内家庭教育学習講座（フォーラム）

## フジノ食品株式会社



### 社会みんなで「こころ」を育む営みを

期日 平成20年10月25日（土）  
時間 午後3時～4時30分  
会場 五個荘農村環境改善センター2階  
（東近江市五個荘塚本町）  
対象 経営者および社員（全社主任者会議後）  
69名  
滋賀県家庭教育協力企業  
協定制度締結企業

みんなで支えあって...  
人と人が「心でかわること」を  
大事にしていきましょう。

はじめに...

近江商人の「売り手よし 買い手よし 世間よし」の三方よしに代表される精神  
社会みんなで支え合う「子によし 親によし 世間によし」の子育て三方よしの願い

#### 1. 滋賀県家庭教育協力企業協定制度とは？（別添資料参照）

「家庭の教育」に企業の力を！（下記の5つの取組の内、2つ以上の取組を推進）

子育て環境づくりを進めよう！ 働く姿を見せよう、仕事について語り合おう！  
子ども体験活動を支援しよう！ 学校へ行こう！  
「淡海子育て応援団」に加入しよう！

#### 2. 「ヒト」が「ひと」として育つための協働した「営み」を

「家庭」という場を見つめ直しましょう。

- ・家庭での「育み」はすべての出発点
- ・「ヒト」から「ひと」へ生きることの基本を学ぶ場
- ・家庭の役割 子どもを伸ばすという視点  
子どもをしつけるという視点

「学校」（保幼・小・中・高）の役割とは？

- ・子どもが自分とその家族以外の人と初めて深く交わる場所
- ・人との関わりのあり方の基本を学ぶ場
- ・子どもの集団に外の風を...隙間をつくることの大切さ

「地域」の役割とは？

- ・子どもが「自然に育つ」ための条件...家族や同年代の友だち以外の人との協調や葛藤
- ・少し距離をおいて見守るようなまなざし...安心感
- ・地域社会で十分に揉まれることなく、家庭から、学校から、...いきなり公的空間へ
- ・開かれた形で地域社会も参画すべき時代

#### 3. 現代社会における「こころ」を「育む」を考える

- ・思いどおりにならないこと存在
- ・子どもたちの夢や希望を育む大人社会の責任とは...
- ・情報社会という環境 利点とさまざまな弊害 リセットすればいいという奇妙な感覚  
だからこそ社会性の体験を

終わりに...

いつの時代も、子どもは大人を見て育つ。  
わたしたち一人ひとりが「できること」から始めましょう。  
コップいっぱいの水